

統計トピックスNo. 56

^{たつ}
「辰年生まれ」と「新成人」の人口

— 平成24年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

^{たつ}
辰年生まれは1022万人

新成人は122万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、平成24年1月1日現在における「^{たつ}辰年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I ^{たつ}辰年生まれの人口は1022万人

- 男性は496万人，女性は526万人
- 昭和27年生まれと51年生まれが最も多い
- 十二支の中では10番目

II 新成人人口は122万人

- 男性は62万人，女性は60万人
- 新成人人口は減少を続け，最も多かった昭和45年の半数を初めて下回る

I ^{たつ}辰年生まれの人口は1022万人

男性は496万人，女性は526万人

平成24年1月1日現在における^{たつ}辰年生まれの人口は1022万人で，総人口1億2773万人に占める割合は8.0%となっています。

男女別にみると，男性は496万人，女性は526万人で，女性が男性より30万人多くなっています。 (表1，表2)

昭和27年生まれと51年生まれが最も多い

^{たつ}辰年生まれの人口を出生年別にみると，第1次ベビーブーム（昭和22年～24年）後の昭和27年生まれ（平成24年に60歳になる人）と第2次ベビーブーム（昭和46年～49年）後の51年生まれ（同36歳になる人）が共に179万人で最も多くなっています。

(表2，図2)

十二支の中では10番目

総人口を十二支別にみると，^{うし}丑年生まれが1156万人で最も多く，^ね子年（1138万人），^い亥年（1125万人）と続いており，^{たつ}辰年生まれは10番目となっています。

(表1，図1)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12773	100.0	—
子(ね)	1138	8.9	2
丑(うし)	1156	9.1	1
寅(とら)	1122	8.8	4
卯(う)	1107	8.7	5
辰(たつ)	1022	8.0	10
巳(み)	1031	8.1	9
午(うま)	978	7.7	12
未(ひつじ)	1037	8.1	6
申(さる)	1032	8.1	8
酉(とり)	991	7.8	11
戌(いぬ)	1033	8.1	7
亥(い)	1125	8.8	3

図1 十二支別人口

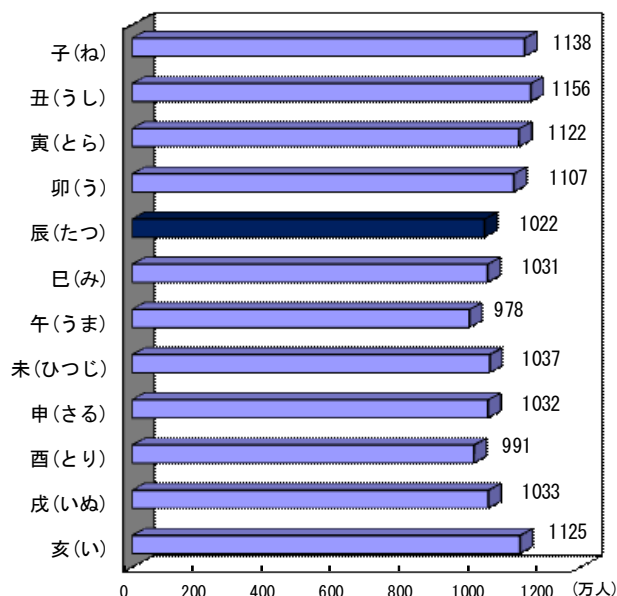


図2 男女、出生年別^{たつ}辰年生まれの人口

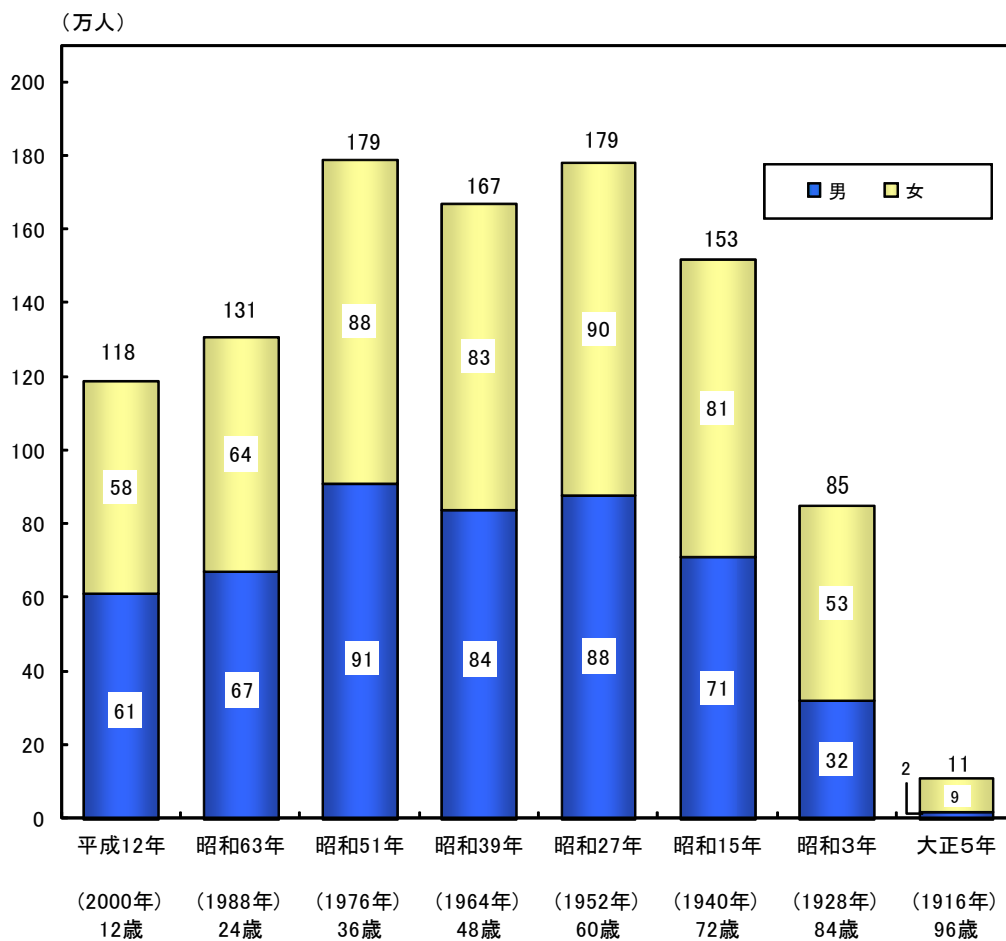


表2 男女、出生年別^{たつ}辰年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (万人)	総数に占める割合 (%)	男 (万人)	総数に占める割合 (%)	女 (万人)	総数に占める割合 (%)
総数	—	1022	100.0	496	100.0	526	100.0
平成12年	(2000年) 12歳	118	11.6	61	12.2	58	11.0
昭和63年	(1988年) 24歳	131	12.8	67	13.4	64	12.2
昭和51年	(1976年) 36歳	179	17.5	91	18.3	88	16.8
昭和39年	(1964年) 48歳	167	16.3	84	16.9	83	15.8
昭和27年	(1952年) 60歳	179	17.5	88	17.8	90	17.2
昭和15年	(1940年) 72歳	153	14.9	71	14.4	81	15.4
昭和3年	(1928年) 84歳	85	8.3	32	6.5	53	10.0
大正5年	(1916年) 96歳	11	1.1	2	0.4	9	1.7

- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- * 図及び表中の年齢は、平成24年に誕生日を迎えた時の年齢
- * 十二支別人口は、1月1日現在の推計のため、平成24年生まれの^{たつ}辰年の人は含まれない。

II 新成人人口は122万人

男性は62万人、女性は60万人

この1年間（平成23年1月～12月）に、新たに成人に達した人口（平成24年1月1日現在20歳の人口）は122万人となっています。

男女別にみると、男性は62万人、女性は60万人で、男性が女性より2万人多く、女性100人に対する男性の数（人口性比）は104.9となっています。（表3）

新成人人口は減少を続け、最も多かった昭和45年の半数を初めて下回る

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム世代の人が成人に達した時に200万人台（最多は平成6年207万人）となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

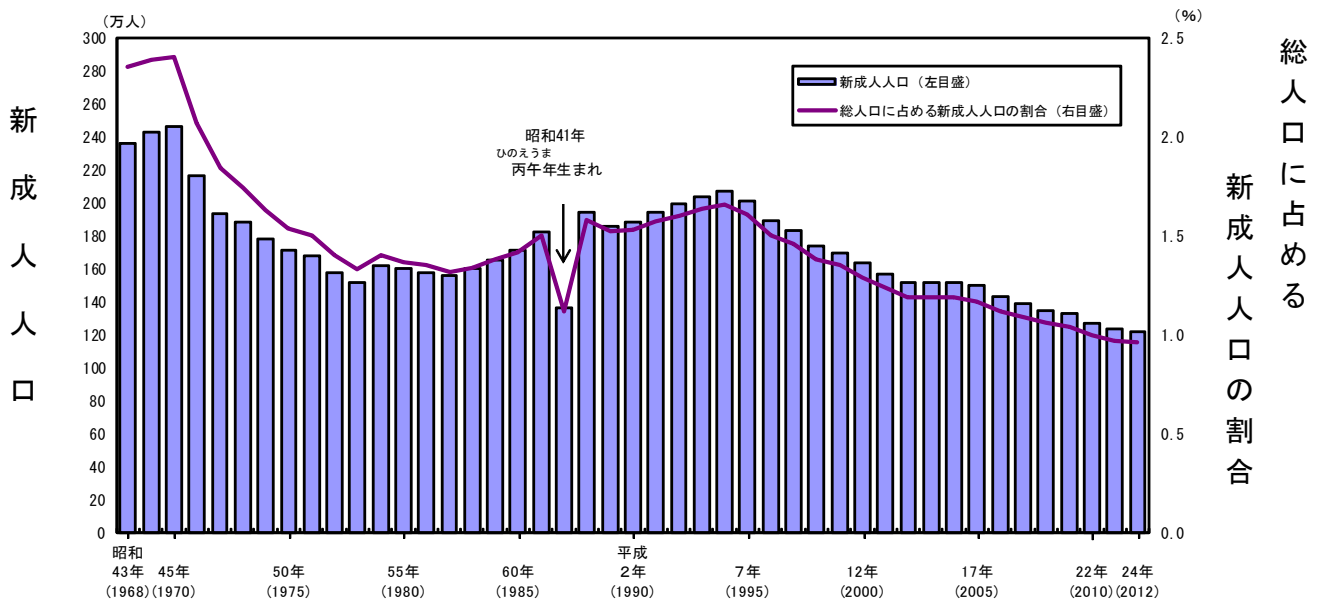
表3 新成人人口の推移（各年1月1日現在）

年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比	年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%）	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年（1968）	236	119	117	2.35	101.6	平成2年（1990）	188	97	92	1.53	105.5
44（1969）	243	123	121	2.39	101.9	3（1991）	194	99	94	1.57	105.4
45（1970）	246	124	123	2.40	101.0	4（1992）	199	101	97	1.60	104.2
46（1971）	216	110	106	2.07	103.9	5（1993）	204	104	99	1.64	105.0
47（1972）	193	98	96	1.84	102.0	6（1994）	207	106	101	1.66	105.0
48（1973）	188	94	94	1.74	100.8	7（1995）	201	103	98	1.61	105.6
49（1974）	178	89	89	1.63	100.6	8（1996）	189	97	92	1.50	105.3
50（1975）	171	87	84	1.54	103.6	9（1997）	183	94	89	1.46	104.7
51（1976）	168	86	83	1.50	103.7	10（1998）	174	89	85	1.38	105.0
52（1977）	158	81	77	1.40	104.5	11（1999）	170	87	83	1.35	105.2
53（1978）	152	77	75	1.33	102.8	12（2000）	164	84	80	1.29	105.4
54（1979）	162	82	80	1.40	103.3	13（2001）	157	81	77	1.24	105.3
55（1980）	160	81	78	1.37	103.9	14（2002）	152	78	74	1.19	104.7
56（1981）	158	81	78	1.35	104.3	15（2003）	152	77	74	1.19	104.7
57（1982）	156	80	76	1.32	104.5	16（2004）	152	78	74	1.19	104.7
58（1983）	160	81	78	1.34	104.2	17（2005）	150	77	73	1.17	104.9
59（1984）	165	84	81	1.38	104.3	18（2006）	143	73	70	1.12	105.0
60（1985）	171	87	83	1.42	104.8	19（2007）	139	72	67	1.09	106.4
61（1986）	182	93	89	1.50	104.2	20（2008）	135	69	66	1.06	105.2
62（1987）	136	70	66	1.12	105.7	21（2009）	133	68	65	1.04	104.9
63（1988）	194	99	95	1.58	103.9	22（2010）	127	65	62	1.00	104.7
64・ 平成元年 （1989）	186	96	91	1.52	105.3	23（2011）	124	63	61	0.97	104.2
						24（2012）	122	62	60	0.96	104.9

平成24年は、前年から2万人減少して122万人になり、新成人が最も多かった昭和45年（246万人）の半数を初めて下回っています。

なお、減少を続ける新成人人口は、5年連続して過去最少を更新しています。総人口に占める割合も低下を続けており、平成24年は0.96%となっています。（表3、図3）

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移（各年1月1日現在）



- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。

※ 人口推計は、国勢調査による人口を基に、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て算出している。

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>

人口推計

検索

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/data/topics/index.htm>

- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。

(例) 「統計トピックス No.56」(総務省統計局)

【問い合わせ先】

総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係

〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号

TEL : 03(5273)1009

FAX : 03(5273)1552

Eメール : c-suikei@soumu.go.jp